

「すべての人にやさしい」を

実現するため、

様々な立場の方に

ヒアリングを実施しました

ユニバーサルデザインとは？

性別や年齢、障がいの有無など、人の持つさまざまな個性や違いに関わらず、誰もが使いやすく、暮らしやすい社会の実現を目指す考え方です。

実施団体：

- 【子育て】 すこやかひろば、つどいの広場「ひだまり」、ふらっとスペース金剛
- 【障がい者】 身体障害者福祉協会、心身障害児(者)父母の会、精神障害者家族会、視覚障害者福祉協会
- 【高齢者】 富田林市老人クラブ連合会
- 【外国人】 とんだばやし国際交流協会
- 【LGBTQ】 にじいろブーケ



富田林市に在住の外国人の方々へのヒアリング(市役所にて)

皆さんから頂いたご意見

「エレベーター」

- ・先着案内や開閉時など音声対応が必須。(視覚障がい)
- ・聴覚障がい者は故障や停電時に緊急の電話ができないので、外から中が見えるような扉にしてほしい。(聴覚障がい)
- ・双子用のベビーカーが乗せられるようにしてほしい。(子育て)
- ・救急用のストレッチャーが入るサイズが必要ではないか。(身体障がい)
- ・操作パネルの位置については複数箇所必要。(身体障がい、子育て)

「駐車場」

- ・身体障がい者優先駐車場が便利などところにあると、一般の人が停めてしまうことがある。(身体障がい)
- ・乗車スペースには屋根が欲しい。(身体障がい、子育て)
- ・敷地に入るところでの混雑を解消してほしい。(高齢者)

「誘導・案内」

- ・男性女性だけでなくわかりやすいサインの色使いや案内表示などを検討してほしい。(LGBTQ)
- ・スマートフォンを活用して、音声で行き先を知らせてくれるなどはできないか。(視覚障害)



2022.5.17(火)

【実施概要】

とき：2022年4～5月
ところ：市役所、各団体活動場所など

【実施方法】

現状の計画案を説明後、これまで利用した施設(市庁舎に限らない)で使いやすかった施設や、どこが使いやすかったかなどを、項目に沿って伺った。

富田林市 新庁舎建設 プロジェクト



・優しいわかりやすい日本語、そして漢字には必ずふりがなを振ってほしい。(外国人)

・案内板などはタッチ式で多言語表示ができるようにならないか。(外国人)

・音声案内が聞こえないので、電子掲示板も活用してはどうか。(聴覚障がい)

・字が読めないのでピクトグラムがあればわかりやすい。(知的障がい)

・わかりやすい位置に総合受付を配置してほしい。(外国人)

・誘導の矢印がある、色が違うなど、どこに何課があるか、わかりやすい工夫が必要。(外国人)

「トイレ」

・操作レバーやボタンの位置を音声で案内してほしい。(視覚障がい)

・操作レバーの位置などを館内で統一するのはどうか。(視覚障がい)

・大人用だと高いので、子ども用の手洗いが必要。(子育て)

・性別に関係なく入れるキッズトイレがほしい。(子育て)

・赤ちゃん用にベビークープではなく、ベビーベッドのある個室が各階にほしい。(子育て)

・男性トイレにもオムツ替え台などの子育て設備を用意してほしい。(子育て)

・荷物が多いので荷物置きがあると便利。(子育て)

・男女に分かれる前に、LGBTQの方も含めて、誰でも使える共用のトイレがあるとよい。職員フロアにもあるとよいのでは。(LGBTQ)

「授乳室」

・扉やカーテンでプライバシーが守られている。できれば鍵も欲しい。(子育て)

・全フロアのトイレの近くに当たり前に授乳室があって欲しい。(子育て)

・男性も入ってオムツを替えたり、ミルクを温めたり、ミルクをあげられるスペースが必要。(子育て)

「待合スペース」

・現在は椅子が少ない。(子育て)

・通路が狭いので、ベビーカーを通るときに怖い。(子育て)

・通路はなるべく広くしてほしい。(子育て)

・利用者の多い窓口を1階にする、子育て関係は同じフロアにするなど、利用しやすい配置を検討してほしい。(高齢者)

・手続きの際に個人情報を守られるような間仕切りが必要。(精神・知的障がい、LGBTQ)

・必要に応じて個室での相談ができるようにしてほしい。(精神・知的障がい)

・相談スペースのドアはスライド式にしてほしい。(身体障がい)

・音が気になることが多いので、静かな場所があるとよい。(精神・知的障がい)

・優しい日本語や、ゆっくり話すなど職員さんの対応に期待したい。(外国人)

「キッズスペース」

・トイレ、授乳室、相談スペースとキッズスペースなどが近くに固まっていればありがたい。(子育て)

・子どもを預かってもらえる支援センターや、小学生も自由に行ける場所があるとよい(子育て)

・キッズスペースに職員さんが来てくださって話ができるとういのは(子育て)

・ソファのような生地や、転んでも痛くない素材だと遊ばせやすい(子育て)

「クールダウン・カムダウン」

・気分が悪くなった人が休めるスペースはあった方がいいのではないか。(精神・知的障がい)

・緑の見える空間があれば心が落ち着く。(精神・知的障がい)

・待合スペースに物が溢れて雑然としていると落ち着かない。(精神・知的障がい)

・パニック障害なども増えているので静かに休める場所があるとよいのではないか。(子育て)



子育て世代へのヒアリング(つどいの広場「ひだまり」にて)

富田林市本庁舎は、耐震性能の不足や設備の老朽化等、様々な問題を抱えています。平成28年4月に発生した熊本地震では庁舎が被災し、行政機能に支障をきたす事態になったことから、本市では平成29年度に行いました市庁舎耐震化構想業務において市庁舎耐震調査を実施し、これをまとめた「富田林市庁舎耐震調査業務調査報告書」で庁舎北館の耐震性能が確保されていないことを再確認しました。

これらの課題の改善策を検討するため、平成30年度に「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議」を設置し、「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議報告書」をまとめました。さらに、令和2年度には耐震化を含めた新庁舎建設の基本計画となる「富田林市庁舎整備基本計画」を策定し、現在は新庁舎の設計に取り組んでおります。



富田林市
新庁舎建設
プロジェクト